

平成30年度 第1回屋久島世界遺産地域科学委員会議論の整理

課 題	主 な 意 見	関 係 機 関	回 答
世界遺産地域管理計画について	<p>資料2 管理計画について</p> <p>①屋久島世界遺産地域管理計画の改定について、「山岳部利用のあり方検討会の検討結果も踏まえ、中長期的なスケジュールを考える。」とあるが、H34年を見据え具体的スケジュールを示す時期にきている。</p> <p>②関連…遺産地域の拡張について、H21年の科学委員会で議論され、当時の回答は、今回の改定の時に検討するといったニュアンスであった。地域連絡会議等のガバナンスのあり方等も踏まえた上で、改定を検討する必要があるため、改定に向けたロードマップを示していただきたい。</p> <p>③H29年度第2回科学委員会の議論の整理の回答に、「地域連絡会議の見直し等を含めた検討の中で」と書かれているが、地域連絡会議がH29年度に開催されたと聞いている。この中で地域連絡会議の委員構成について、どのような検討がなされたのか示してほしい。</p>	<p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p>	<p>①②地域管理計画の改定等の具体的なスケジュールは、実際に改定するかどうかの検討も含め、関係機関で協議しながら、なるべく早急に示せるよう進めて参りたい。</p> <p>③地域連絡会議の委員構成等については、検討を進めているが、まだ提示できる状況になっていない。できるだけ早急に検討内容等を示すことが必要であるとう認識で取り組んでいる。</p>
議事(2)	<p>資料3 モニタリング調査について</p> <p>①モニタリング調査項目について、屋久島の「千頭川の溪流とトロッコ」が日本の音風景100選に入っており、音も屋久島にとっても重要な要素だと思う。そのような中で、馬毛島が米軍の訓練基地になる可能性が報道されている。基地が出来て屋久島の上空を訓練機が飛行する時の音は相当なものになると思うが、音による影響等の検討が必要になった場合、前のデータがないと変化を比較できないため、音についてもデータを把握することを検討して欲しい。</p> <p>②これまで把握してこなかった屋久島近海の海水面の温度変化についてもデータを整理していくことが必要と思う。</p>	<p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p>	<p>①②モニタリング調査については、参考資料3「屋久島世界自然遺産地域モニタリング計画」に基づき実施しており、調査項目の追加については、次期見直し時に検討することとしたい。</p>
議事(2)	<p>資料5、7 H29、H30林野庁報告及び計画</p> <p>林野庁の垂直分布モニタリング調査について、プロットの面積を表示して頂くと分かり易い。併せて、調査面積が違う調査プロットを比較することはできないので、誤解を招かないよう検討した方がよい。</p>	<p>林野庁</p>	<p>各プロットにおいて、過年度と比較するのには問題ないが、ご指摘のとおり、標高が異なるプロット同士を比較検討する場合は誤解を招く恐れがある。このため、調査結果について、標高別の植生被度、群度等を表示する場合は㎡当たり等に換算して比較するようにして参りたい。</p>
議事(2)	<p>資料7 H30林野庁計画</p> <p>縄文杉の下層植生調査では、植生保護柵の設置でこれだけの植生が回復したことが分かった。夫婦杉や大王杉についても樹勢診断結果で植生保護柵の設置を提言しているので、是非、前向きに検討して欲しい。</p>	<p>環境省 ◎林野庁 鹿児島県 屋久島町</p>	<p>夫婦杉、大王杉への植生保護柵の設置については、樹勢診断結果を踏まえながら、ヤクシカの影響や登山道の状況、設置による影響等も考慮しつつ検討して参りたい。</p>
議事(2)	<p>資料4 別紙2 H29環境省報告</p> <p>歩道の浸食状況等のモニタリング調査については、人間が歩きながらレーザー計測すれば、浸食状況の経年変化を把握することができると思う。場合によっては、アクションカメラで撮影しながら歩くと同じ地点の画像が数十枚撮れるので3次元化することも可能になる。そういった技術的なことも取り入れることを検討されるとよい。</p>	<p>環境省</p>	<p>仕様等について、検討して参りたい。</p>

課 題		主 な 意 見	関 係 機 関	回 答
議事(2)	資料3 モニタリング調査について	これまで民間等で取り組んできたウミガメ産卵等のデータ収集が大変厳しい状況と聞いている。当該地はラムサール条約登録湿地でもあり、このままでは世界遺産区域の拡張にも影響がでてくると思う。今後は公的機関(科学委員会等)によるデータ収集が必要ではないか。	◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	できる範囲での調査を行うこととなり、昨年度NPOから講習を受け、今年度から環境省事業として連絡協議会へ委託して調査を実施しているところ。科学委員会へのデータ提供は検討する。
議事(2)	資料2 管理計画について	エコツーリズム全体構想の中の管理運営計画の策定について、科学委員会でも内容等を把握する必要があると思う。次回の委員会で途中経過等の報告をお願いしたい。	屋久島町	今年度と来年度の2年を掛けて計画を策定することとしている。次回の委員会へ内容等を報告してご意見等を伺いたい。
議事(4)	資料10 高層湿原保全対策検討会	<p>①昭和60年以前に高層湿原を撮影した写真のカットが数点あるが、どこに提供すればいいか。</p> <p>②湿原の地下水位を計測する簡単なテンションメーターのようなものを数カ所に設置して1ヶ月毎ぐらいにデータ回収すれば地下水位の平均が分かると思うので、検討されたい。</p> <p>③外部要因については、木道の支柱が泥炭層を突き破って水が流れているなどの影響が考えられるので、それについても検証した方がよいと思う。</p> <p>④湿原には生態系の価値だけでなく景観的価値もあると思う。今回設置する検討会には景観系の有識者が入っていないがどうなのか。</p> <p>⑤保全対策には、湿原全体を囲むように柵を設置するとか、歩道を付け替えるとかの大掛かりなものを含めて検討するのか。</p> <p>⑥湿原の保全計画と遺産地域の管理計画との関連はとても重要なので、遺産地域の管理計画に湿原の保全計画を反映させるべきと考える。</p> <p>⑦外部要因の排除について、ヤクシカによる採食も外部要因と見なしているが、ヤクシカは以前からおり、採食は湿原の保全に何らかの役割を果たしていると思う。人為的な影響の排除は必要と思うがヤクシカの排除は不要ではないかと思う。</p>	環境省 ◎林野庁 鹿児島県 屋久島町	<p>①屋久島森林生態系保全センターにご提供をお願いします。</p> <p>②地下水位の計測をモニタリングに取り入れて参ります。</p> <p>③木道支柱の影響については、以前からご指摘があり、今後、現状を踏まえモニタリング項目に含めたり、スポット的に調査をすることが必要と考えています。</p> <p>④高層湿原の景観的価値も重要と認識していますが、今回は湿原そのものの衰退状況を把握し、保全対策を検討する場として設置したところ。現地検討会も予定しており、ここでは観光協会、ガイド部会等からご意見をいただく機会を設ける予定です。</p> <p>⑤湿原全体を柵で囲うことや歩道の付け替えも含めて検討することを想定しているが、国立公園内の歩道であり文化財の指定区域内となっていることから慎重な検討が必要と考えています。</p> <p>⑥湿原の保全計画を遺産地域管理計画に反映させることは、重要と認識しておりますので、管理計画等の見直しの際には反映させるよう検討して参ります。</p> <p>⑦ヤクシカの影響については、H23に環境省が花之江河に植生保護柵を設置してモニタリングしているが、保護柵内にはミズゴケ等が回復している一方、ススキ等も出てきている。そのためヤクシカの影響を排除することが湿原にとって最良ではないと考えるが、今後、林野庁のカメラによる観測、環境省による奥岳でのヤクシカの生息調査等も実施されるので情報を共有しながらヤクシカの影響を把握する必要があると考えている。</p>
その他	資料4. 8 ヤクシカに関する事項	単にヤクシカを捕獲するだけでなく、その後の利用についても検討すべき。そのために島内の加工処理施設の稼働状況や経営が成り立つのかなどのデータの収集も必要ではないかと思う。	屋久島町	島内の加工処理施設の稼働状況や採算性等についてのデータ収集は可能と考えています。